

FUJIFILM

# instax SQUARE SQ 40

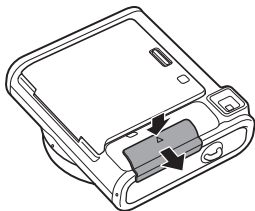
INSTANT CAMERA



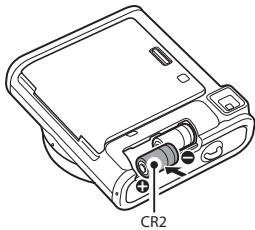
使用説明書/安全にご使用いただくために



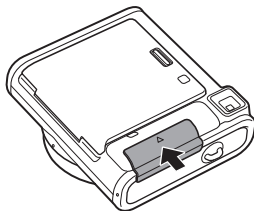
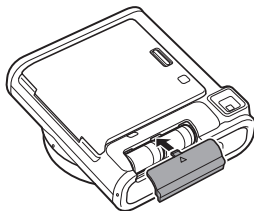
**1**

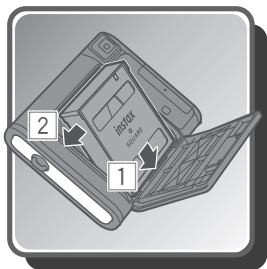


**2**

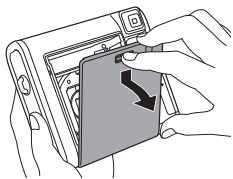


**3**

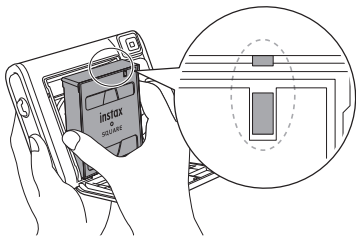




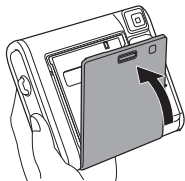
1



2

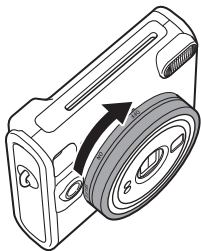


3

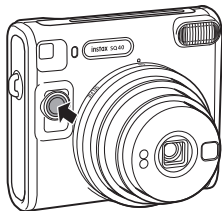




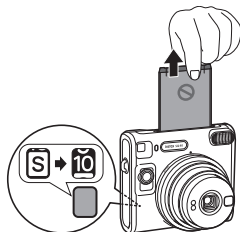
1

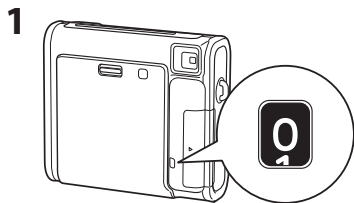
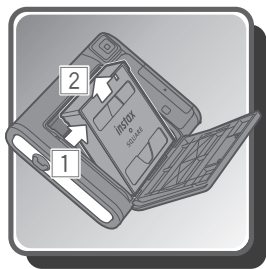


2

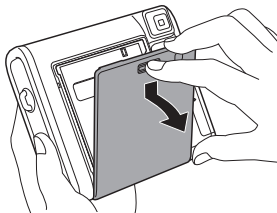


3

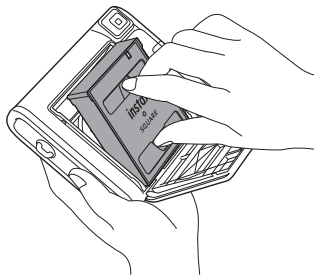




**2**



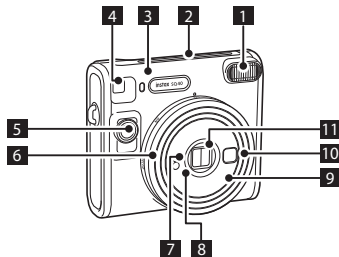
**3**



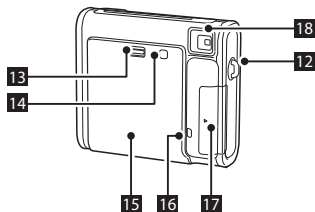
●電池の入れ方、フィルムバックの入れ方・取り出し方については、2～5ページを参照してください。

## 各部の名称

前面



背面



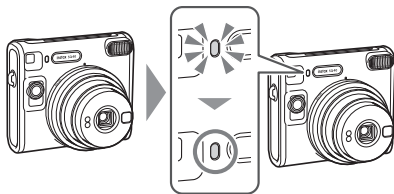
- 1 フラッシュ発光部
- 2 フィルム排出口
- 3 フラッシュ充電ランプ
- 4 ファインダー
- 5 シャッターボタン
- 6 レンズリング / 電源
- 7 AE 受光部
- 8 フラッシュ受光部
- 9 レンズ部
- 10 セルフィーミラー
- 11 レンズカバー / 撮影レンズ
- 12 ストラップ取り付け部
- 13 裏ぶたロック
- 14 フィルム確認窓
- 15 裏ぶた
- 16 フィルムカウンター
- 17 電池ぶた
- 18 ファインダー接眼部

## 撮影する

フィルムを使い切るまでは、裏ぶたを開けないでください。途中で開けるとフィルムが感光して白くなり、写真が写りません。

- 1 レンズリングを「ON」まで回転し、電源を入れる

レンズ部が緑り出し、フラッシュ充電ランプが点滅から点灯に変わります。(点滅時はフラッシュ充電中を示します。)

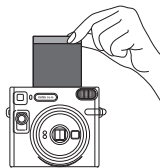


- 2 カメラを構え、構図を決めて、シャッターボタンを押す

\* フラッシュの充電中はシャッターボタンを押せません。

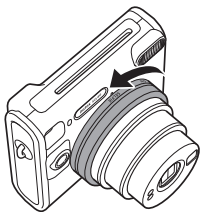


- 3 フィルムを排出する音が止まってから、送り出されたフィルムの先端を持って取り出す



撮影することによりフィルムカウンターが「10」から減っていき、最後の1枚を撮り終わると「0」が表示されます。

- 4 撮影が終わったら、レンズリングを「OFF」まで戻し電源を切る



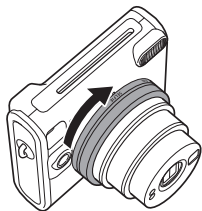
カメラが誤作動した場合は、電源を入れた状態で電池をいったん取り出し、再度入れ直してください。

## セルフモードで撮影する

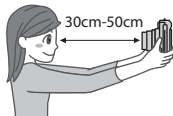
### 自分自身を撮影する

セルフモードで撮影すると、セルフミラーを使用して自分自身を撮影することができます。

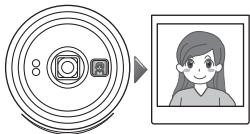
- 1 レンズリングを「SELFIE」まで回転し、レンズをセルフモードまで引き出す



- 2 両手でしっかりとカメラを持って、レンズの先から30cm～50cmになるように構える



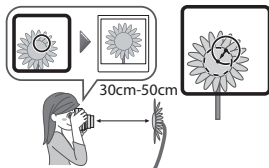
- 3 セルフミラーで構図を確認し、撮影する



### 接写する

セルフモードで撮影すると、被写体に近づいて大きく撮影することができます。

- 1 レンズリングを「SELFIE」まで回転し、レンズをセルフモードまで引き出す
- 2 ファインダー内の○が、被写体の中心のやや右上になるようにカメラを構え、撮影する





## 撮影時の注意事項

### カメラを構えるときの注意



正しい持ち方



フラッシュ発光部に指をかけない



フラッシュ受光部、AE受光部に指をかけない

- 指やストラップがフラッシュ受光部、AE受光部、フラッシュ発光部、撮影レンズ、フィルム排出口に掛からないように注意してください。
- 横位置撮影では、フラッシュ発光部が上になるように構えてください。
- フラッシュ撮影が禁止されている場所では使用しないでください。
- 構えるときはレンズ部を持たないでください。写真が正しく写らない場合があります。
- ファインダーをのぞく時は、ファインダー内の○が中央に見えるように、のぞいてください。
- シャッターボタンを押すときは、撮影レンズに触れないように注意してください。

### 通常モードとセルフイーモードの距離について

- 通常モードでは、撮影対象から0.5m以上離れて撮影してください。また、フラッシュの光が届く範囲は約2.2mです。
- 0.5mより被写体に近づく場合には、セルフイーモードをご使用ください。セルフイーモードを使用すると、30cm～50cmの範囲で接近して撮影することができます。

### フラッシュ充電ランプの状態とエラー対処方法

フラッシュ充電ランプの状態	説明
点灯	撮影準備ができています。
消灯	電源が切れています。
ゆっくりと点滅	フラッシュの充電中です。フラッシュが点灯するまでそのままお待ちください。通常3秒～10秒で充電が完了します。
早く点滅	エラーが発生しています。

主なエラー	原因と対処方法
バッテリーチェックNG	電池の電圧不足でフラッシュの充電ができません。電池を新品に交換してください。
フィルムつまり	無理にフィルムを引き出さず、電源を入れたまま、電池を一度取り外し、再度電池を入れ直してください。フィルムを排出することができます。

## 安全にご使用いただくために

- この製品および付属品は、写真撮影以外の目的に使用しないでください。
- 製品の安全性には十分配慮しておりますが、下記の内容をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- この説明書はお読みになった後で、いつでも見られるところに必ず保管してください。

### ⚠ 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- Ⓣ 絶対に分解しないでください。感電の原因になることがあります。
- ⚠ 落下などにより内部が露出したときは、絶対に触れないでください。高圧回路があり感電する原因になることがあります。
- ⚠ カメラ(電池)が熱くなる、煙が出る、焦げ臭いなどの異常を感じたときは、ただちに電池を取り出してください。発火ややけどの原因になることがあります(電池を取り出す際、やけどには十分ご注意ください)。
- ⚠ 自転車や自動車・列車などを運転している人に向けて、フラッシュ発光撮影をしないでください。交通事故などの原因となることがあります。
- ⚠ カメラを水中に落としたり、内部に水または金属や異物などが入ったときは、ただちに電池を取り出してください。発熱・発火の原因になることがあります。

- ⚠ 引火性の高いガスが充滿している場所や、ガソリン、ベンジン、シンナーなどの近くでカメラを使用しないでください。爆発や発火・やけどの原因になることがあります。
- ⚠ 小さいお子様の手の届くところに置かないでください。けがの原因になることがあります。
- ⚠ 電池の分解、加熱、火中への投入、ショートは絶対にしないでください。破裂の原因になることがあります。
- ⚠ 指定以外の電池を使わないでください。発熱・発火の原因になることがあります。
- ⚠ 電池は乳幼児の手の届かないところに置いてください。乳幼児が誤って飲み込む原因になることがあります。万一飲み込んだ場合には、ただちに医師の診察を受けてください。

### ⚠ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容または、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- ⚠ カメラをぬらしたり、ぬれた手で触ったりしないでください。感電の原因となることがあります。
- ⚠ フラッシュを人の目に近づけて発光しないでください。一時的に視力に影響することがあります。特に乳幼児を撮影するときは気を付けてください。
- ⚠ 電池の⊕⊖を誤って装てんしないようにご注意ください。カメラの破損や電池の液もれにより周囲を汚損する原因となることがあります。
- ⚠ カメラの内側の可動部に触れないでください。けがの原因となることがあります。

## 取扱上のお願

### ■ カメラの取り扱い

1. カメラは精密機械ですから、水にぬらしたり、落としたりしてショックを与えないでください。また、砂の掛かりやすいところは置かないでください。
2. 市販のストラップをご使用になる場合は、ストラップの強度をご確認の上、ご使用ください。携帯電話、スマートフォン用ストラップは軽量機器用ですので、ご使用の際は特にご注意ください。
3. 長期間お使いにならないときは、電池を取り出して、湿気、熱、ほこりの影響の少ないところに保管してください。
4. ファインダーなどが汚れたら、ブローブラシでほこりを払い、柔らかい布で軽くふきとってください。
5. 汚れをふき取るのにシンナー、アルコールなどの溶剤は使用しないでください。
6. 閉め切った自動車の中や、高温の場所、湿気のある場所、海岸などに長時間放置しないでください。
7. ナフタリンなど防虫剤のガスは、カメラにもフィルムにも有害ですから、たんすなどへの収納は避けてください。
8. このカメラの使用温度範囲は+5℃から+40℃です。
9. このカメラはマイクロコンピューターによって制御されているため、ごくまれにカメラが誤作動する場合があります。このようなときは、電池をいったん取り出し、再度入れ直してください。

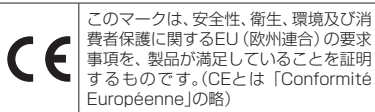
### ■ フィルム、写真の取り扱い

フィルム、写真の取り扱いかたについては、富士フィルム インスタントフィルム「instax SQUARE」の取扱説明書を参照してください。

1. フィルムは、涼しい場所に保管してください。特に閉め切った自動車の中などの極端に高温の場所に長時間放置しないでください。
2. カメラに入れたフィルムは、できるだけ早くプリントしてください。
3. フィルムを極端に温度の低い場所や高い場所に置いてしまった場合は、通常の温度になじんでから撮影してください。
4. フィルムは有効期限内にお使いください。
5. 空港の預け入れ荷物検査などでの強いX線照射を避けてください。未使用のフィルムにカブリなどの影響が出る場合があります。手荷物としての機内持ち込みをお勧めします（詳しくは各空港でご確認ください）。
6. 写真は強い光を避け、涼しく乾燥した場所に保存してください。
7. フィルムに穴をあけたり、破いたり、切ったりしないでください。フィルムが損傷した場合は、使用しないでください。
8. このフィルムの中には黒色苛性アルカリのペーストが入っていますので、切ったり分解しないでください。特に乳幼児やペットが口に入れないよう注意してください。また、ペーストが皮ふや衣服につかないようにしてください。
9. 誤って未使用フィルムのペーストにふれたときは、速やかに水で充分に洗ってください。また、目や口に入った場合は、洗った後に医師の診断を受けてください。なお、このフィルムは、カメラなどから出てから約10分間でアルカリ性が弱まります。

■フィルムや出来上がった写真を取り扱うときの注意

詳細は、富士フィルム インスタントフィルム Instax SQUAREの取扱説明を参照してください。



■本製品が適合している規制関連の表示は、カメラの裏ぶたの内側にあります。

仕様	
使用フィルム	富士フィルム インスタントフィルム instax SQUARE
写真画面サイズ	62 mm × 62 mm
レンズ	2群2枚構成 f = 65.75 mm 1:12.6
ファインダー	逆ガリレオ式ファインダー 0.4倍 / ターゲットマーク付き
撮影範囲	0.3 m ~ ∞ (0.3 m ~ 0.5 m ではセルフイーモードを使用)
シャッター	プログラム式電子シャッター 1/2 ~ 1/400秒 低輝度スローシンクロ
露光調節	自動調節 Lv 5.0 ~ 15.5 (ISO 800)
フィルム送り出し	電動式
フィルム現像時間	約90秒 (現像時間は気温によって変動します。)
フラッシュ	常時発光フラッシュ (自動調光) / 充電時間: 7.5秒以下 (新品電池使用時) / フラッシュ撮影距離: 0.3 ~ 2.2 m
電源	リチウム電池 (CR2) 2本 / 撮影可能パック数: 約30パック (当社試験条件による)
オートパワーオフ時間	5分間
その他	フィルムカウンター / フィルムパック確認窓つき

大きさ	134.2 mm × 120.2 mm × 60.5 mm
質量	453 g (電池、ストラップ、フィルム別)

## アフターサービスについて

お手持ちの製品が故障した場合には、次の要領で修理させていただきます。

ご購入店または富士フィルム フィルムカメラお客さま相談窓口にお申し出ください。

それ以外の責は、ご容赦いただけます。なお、保証、使い方などのご不明な点につきましては、富士フィルム フィルムカメラお客さま相談窓口をご利用ください。

### ■ 無料修理

故障した製品についてはご購入年月日、購入店名の記入された、ご購入日より1年以内の保証書が添付されている場合には、保証書に記載されている内容の範囲内で、無料修理させていただきます。  
\*詳しくは、製品保証規定をご覧ください。

### ■ 有料修理

保証期間を過ぎた修理は、原則として有料となります。保証期間内であっても、製品保証規定の「2.」の場合はすべて有料となります。また運賃諸掛かりは、お客様にてご負担願います。

### ■ 修理不能

浸(冠)水、強度の衝撃、その他で損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われるもの、および部品の手当が困難なものなどは修理できない場合もありますので、富士フィルム フィルムカメラお客さま相談窓口にお問い合わせください。

### ■ 修理部品の保有期間

この製品の補修用部品は、製造打ち切り後5年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。

### ■ 修理ご依頼に際してのご注意

1. 保証規定による修理をお申し出になる場合には、必ず保証書を添えてください。
2. ご購入店や弊社サービスステーションで、ご指定の修理箇所、故障内容を詳しくご説明ください。故障の状態によっては、事故となったフィルムなどを添えてくださると修理作業の参考になります。
3. 修理箇所のご指定がないときは、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなることがあります。
4. 修理に関係のない付属品類は、紛失などの事故を避けるため、修理品から取り外してお手もとに保管してください。
5. 修理のために製品を郵送される場合は、ご購入時の外箱などに入れてしっかり包装し、必ず書留小包でお送りください。
6. 修理期間は故障内容により多少異なりますが、普通修理品の場合は弊社サービスステーションで、お預かりしてから通常7～10日位をご予定ください。

### ■ 海外旅行中の故障

本製品の保証書は国内に限り有効です。万一、海外旅行中に故障や不具合が生じた場合は、帰国された後、富士フィルム フィルムカメラお客さま相談窓口にお問い合わせください。

## 個人情報の取扱について

当社は、お客様の住所・氏名・電話番号等の個人情報を大切に保護するため、個人情報保護に関する法令を遵守するとともに、電話問い合わせ時あるいは修理依頼時にご提供いただいたお客様の個人情報を次のように取扱います。

1. お客様の個人情報は、お客様のお問い合わせに対する当社からの回答、修理サービスの提供およびその後のユーザーサポートの目的にのみ利用いたします。
2. 弊社指定の宅配業者、修理業務担当会社、その他の協力会社に当社が作業を委託する場合、委託作業実施のために必要な範囲内でお客様の個人情報を開示することがございます。開示にあたりましては、盗難・漏洩等の事故を防止し、また当社より委託した作業以外の目的に使用しないよう、適切な監督を行います。
3. ご提供いただいたお客様の個人情報に関するお問い合わせ等は、富士フィルム フィルムカメラ お客さま相談窓口あるいは修理依頼先サービスステーション宛にお願いいたします。

● 本製品に関するお問い合わせ

富士フィルム フィルムカメラお客さま相談窓口

 0570-04-1640 (ナビダイヤル)

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、03-6625-2813 におかけください。

受付時間:月曜日～金曜日 10:00～17:00(土日祝日、夏季休業日、年末年始を除く)

● 修理に関するお問い合わせ

富士フィルム フィルムカメラ修理相談窓口

 0570-06-6092 (ナビダイヤル)

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、03-6625-2814 におかけください。

受付時間:月曜日～金曜日 9:30～17:30(土日祝日、年末年始を除く)

▶各窓口の受付時間・サービス内容は、予告なく変更する場合があります。最新の情報は弊社ホームページでご確認ください。

▶富士フィルムグループでは、お客さまからのお問い合わせ内容を正確に把握するために録音させていた  
だくことがあります。

▶修理品を持参または送付される場合は、下記サイトをご覧ください。

<http://fujifilm.jp/support/filmandcamera/repairservice/index.html>

● 本製品以外の富士フィルム製品のお問い合わせ先

富士フィルム お客様コミュニケーションセンター

 0570-04-1711 (ナビダイヤル)

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、03-6625-2811 におかけください。

受付時間:月曜日～金曜日 10:00～17:00(土日祝日、夏季休業日、年末年始を除く)

\*各窓口の受付時間、サービス内容は予告なく変更する場合があります。最新の情報は弊社ホームページで  
ご確認ください。

富士フィルムホームページ:<https://www.fujifilm.com/jp/ja>

# FUJIFILM

## FUJIFILM Corporation

7-3, AKASAKA 9-CHOME, MINATO-KU, TOKYO 107-0052, JAPAN